令和８年度　第２回弟子屈警察署協議会議事概要

１　開催日時
令和８年10月23日（金）午後１時30分から午後２時50分までの間

２　開催場所
弟子屈警察署２階会議室

３　出席者
⑴　協議会委員　５人（定員５人）
会　　長　石橋　悌司
副 会 長　坪井　智裕
委　　員　平田　文子
平野惠利子
佐々木英勝

⑵　警察署員　　６人
署　　長　齋藤　淳一
副 署 長　石坂　勇吉
刑事･生活安全課長　榊　　聡
地域･交通課長　谷地田　勇
地域・交通係長
警務係長

４　弟子屈警察署長挨拶

５　弟子屈警察署幹部紹介

６　業務推進状況の説明

７　令和８年度第１回警察署協議会における委員提言に対する警察業務への反映状況

【前回の委員からの提言】
・　弟子屈町、標茶町で農業実習生として働いているインドネシア人、ベトナム人に対し、自転車利用時のルールについて啓発をしてほしい。
特に、一時停止をしない道路への飛び出しや自転車の並進走行等が目立ちます。
日本語の文字が読めない外国人でも自転車利用時のルールが分かるように各国の外国語に訳したチラシを作成して啓発活動をしてはどう

か。

【前記提言に関する警察の取組報告】

・　当署では前回の提言を受け、管内に居住する自転車利用外国人の交通事故の絶無を図るべく、弟子屈警察署のオリジナルでインドネシア語とベトナム語の交通啓発チラシを作成しました。

・　同啓発チラシは、弟子屈町役場や標茶町役場、農業協同組合２か所の協力を得て施設内に長期掲示させていただき、更に外国人が多数立ち寄りする町内コンビニエンスストア５か所にも店内掲示と配布活動を依頼しました。

・　また、地域警察官が巡回連絡の際に外国人農業実習生と面接し、直に手渡しして、交通安全指導を行いました。

・　当署の交通窓口では来署した外国人に同チラシを配布する際、読みやすいのか、内容は理解できるのか、等の感想を求めたところ、

　○　自分の国の文字は目に入りやすいし、分かりやすいです。

　○　自国では、自転車に乗る時のルールを意識したことがありませんでした。

　○　このチラシは、注意すべき点がシンプルに書いてあるので、とても分かりやすいし､一緒に働いている友達にも教えられて、とても良いと思います。

等の説明を受け、より効果の高い啓発活動になると実感できました。

・　昨年同時期に比べ当署管内の人身交通事故発生件数は減少しており、交通死亡事故の発生もありません。

　加えて、外国人自転車利用者の交通事故の発生も０件と抑止できていることから､「外国語の交通啓発チラシは一定の効果を発揮した。」と言える結果でした。

・　今後、道路凍結による交通環境の変化が生じても、自転車で外出する外国人は多いと思いますし、インドネシア人やベトナム人農業実習生は人の入れ替わり等もありますので、引き続き、地域に根ざした交通事故防止対策として継続していく所存であります。

【委　員】

・　今回の取組によって、インドネシア人やベトナム人の方々に広く自転車利用時のルールが浸透したものと思います。

　今後も引き続き、効果的な交通安全啓発として取り組んでいただきたいと思います。

８　諮問事項

生活道路における交通安全対策

⑴　生活道路の危険性について教養

地域・交通課交通係長が、過去に生活道路において発生した交通事故事例や、自動車の走行速度と死亡事故発生の統計結果について解説し、生活道路において走行速度を抑えることの重要性や、被害に遭わないためのポイント等を説明しました。

⑵　交通安全啓発器材「自転車シミュレーター」の体験

事前に釧路方面交通安全協会から借用していた「自転車シミュレーター」を協議会会場に設置して委員の方に試乗していただき、生活道路における自転車の安全確認等について体験していただきました。

⑶　ＤＶＤ「生活道路での交通事故を防ぐために」の視聴

委員の方に、ＤＶＤ資料「生活道路での交通事故を防ぐために」を視聴していただき、ドライブレコーダー映像による悲惨な衝突の状況や交通事故防止の重要性について再認識をしていただき、平素の町内会活動や近所付き合い等の中で、注意喚起の話題として出していただくよう依頼しました。

【委　員】

・　今回は、生活道路の危険性について様々な説明をしていただき、大変有意義でありました。

自転車シミュレーターやＤＶＤ映像を見せてもらうことでリアルに感じられ、より生活道路における危機意識が芽生えました。

現実に被害に遭わないために、家族、友人、近所の皆さんと「気をつけて」の声掛けをすることが大切だと思いました。

9　質疑応答

委員の意見（答申）

【委　員】

・　先ほどの業務推進状況の説明の中で刑事・生活安全課長が「弟子屈町と標茶町では玄関ドアや車庫、自動車等の無施錠が多い」という話をしていましたが、確かにそのとおりで、特に昔から地元に住んでいる高齢者世帯は鍵をかける意識が低く、在宅中も、外出中も無施錠のまま生活している世帯が多いと思います。

田舎ながらの良い近所付き合いがあるとは言え、闇バイトのニュース等を見ていると無施錠で生活することは、防犯上の問題となるところと思います。

その点、警察の方で効果的に浸透させる取組はありませんか。

【警　察】

・　委員からの御意見を参考に高齢者世帯に対する玄関等の施錠について啓発方法の工夫を図りたいと思いますが、先日、弟子屈町出身の大相撲錦絵師木下大門氏に、弟子屈出身の大横綱大鵬のイラストの作成

を依頼し、弟子屈警察署オリジナル啓発用ポスター等の受贈式を行ったところであります。

横綱大鵬は地元の英雄ですし、特に高齢のおじいちゃん、おばあちゃんからの知名度は抜群に高いものと思いますので、そのイラストを活用した啓発活動を行って「高齢者世帯も施錠する」の浸透を図りたいと思います。

【委　員】

・　弟子屈町出身の横綱大鵬は、今でもこの地域に住む高齢者の心に残る英雄です。

住民は大いに興味を示すと思いますので、是非、よろしくお願いいたします。